



創生会  
に  
つ  
た  
新  
田  
賢  
慈



## 災害に強いまちづくり

**議員** 治山対策について、災害危険地域指定箇所は何箇所ありますか。林地崩壊防止事業は平成31年度何箇所実施される予定ですか。また、急傾斜地の崩壊防止対策と老朽ため池の対策はどうなっていますか。

**市長** 山地災害危険地が1,610カ所、林地崩壊危険箇所が307カ所あります。平成31年度の実施予定としては、県施工の治山堰堤の整備が1カ所、国の採択待ちの事業箇所が4カ所、市営の小規模崩壊地復旧事業が4カ所です。

急傾斜地の崩壊防止工事については県施工の急傾斜地崩壊防止事業で1カ所、災害関連緊急傾斜地崩壊対策事業で2カ所、災害関連緊急砂防事業で5カ所、市施工の急傾斜地崩壊防止事業で4カ所実施する予定です。老朽ため池については、施設機能の適切な維持補強を行い、健全度に応じて適正な管理を推進します。「防災機能を高める」「利用、廃止を決める」など、段階的に対応方針を定め、県と連携しながら計画的に進めていきます。

## 児童虐待防止の取り組み

**議員** 児童虐待が起きないように、全市的な取り組みは何がありますか。

**市長** 関係機関からなる尾道市要保護児童対策地域協議会を設置し、要保護児童等の早期発見と関係機関の連携による支援や見守りを行う体制を構築しています。また、児童虐待に係る24課長による児童虐待対策関係課長緊急連絡会議を開催し、情報共有の徹底と連携を強化しています。

## 市民病院の建て替え計画

**議員** 市民病院を建て替える計画はありますか。

**病院管理者** 平成30年度において、市民病院の果たすべき役割や患者数の推計などから病院の機能や適正な規模など、新病院のあり方について検討を行ったところでありますが、具体的な内容や時期等を示すことはできません。今後は、具体的計画づくりを行うための体制や手法などについて検討していきます。



平成会  
こうもと  
高本  
くんじ  
訓司



## 魅力ある学校環境の構築について

**議員** スクールカウンセラーの市内の小中学校への配置状況と、全ての小学校へ配置する考えはありますか。

**教育長** 子どもを取り巻く諸課題は、複雑化するとともに、保護者の学校への要求水準も高くなっており、教員だけでは解決できない状況にあります。平成30年度、小学校では9校、中学校では全16校に配置しています。県教委では平成31年度から全ての公立小中学校に配置予定と聞いています。

**議員** 新学習指導要領が目指す「生き抜く力」を育むため、全ての小中学校にスクールソーシャルワーカーを配置すべきではないですか。

**教育長** 現在5名のスクールソーシャルワーカーが中学校区を単位に活動しています。諸課題に迅速に対応するために、更なる配置拡充を要望していきます。

**議員** 学校における様々な課題を弁護士が法的な視点から解決を図るため、小中学校にスクールロイヤーを配置すべきと考えますが、

いかがですか。

**教育長** 本市においてもその効果は実感しており、研究もしてきましたが、費用対効果から単市での導入は難しいと考えています。現在、国も調査研究を実施しており、県・近隣市町と連携していきます。

## 教員の働き方改革について

**議員** 教員の業務量の軽減について、どのような考えのもとに取り組んできたのですか。

**教育長** 「チーム学校」として、特別支援教育支援員やスクールソーシャルワーカー、教育事務支援員等の増員配置を進め、さらに、3日間の夏季一斉閉庁や部活動週2日の休養日設定、毎週水曜日の早期退校完全実施をしています。

今後の国の方向性を見据えた勤務時間の管理に努め、取り組んでいきます。

**議員** 平成31年度以降はどのように取り組むのですか。

**教育長** 学校・教職員が本来担うべき業務に専念できるよう部活動や勤務時間外の電話対応等の負担軽減を進めていきます。

また、教務事務支援員の増員や部活動指導員の配置を進めるとともに、統合型校務支援システムを導入します。



新和会  
やまね のぶゆき  
山根 信行



## 活力ある産業が育つまち

**議員** 小規模産業団地整備基本調査事業において、尾道市内一円の候補地について調査中とお聞きしていますが、現在までの進捗状況についてお尋ねいたします。

**市長** 産業団地適地調査の結果も参考にして、開発面積は概ね10ha以下の複数の候補地について調査をします。事業としましては、県の補助事業として県と連携して協議を行い、平成31年度は、候補地の法規制、市場動向、事業採算性など関連施設などを含め検証を行い、精度を高めた調査としていきたいと考えています。

## 放課後児童クラブ

**議員** 現在、開設している児童クラブは何人の児童が利用していますか。現時点で待機児童は何人いますか。また将来的に、職員の配置基準について、現在の2人以上の配置を変更することはあるのかお尋ねいたします。

**市長** 23の小学校区に26カ所の放課後児童クラブを設置しています。利用登録人数は

1,588人で、待機児童はいません。放課後の子どもの安全・安心を確保し、不慮の事故・急病・災害等に適切に対応するため、当面は現行の配置基準に基づき運営を行ってまいります。

## 市民活動支援事業

**議員** 中山間地域において、弱体化した地域の協働・共助の後押しをしていただき、地域住民の計画にもとづき、例えば「原材料支給」制度の拡充や重機など、オペレーターの労務費の支給も一定枠まで可能にするなど、実情に沿った運用方法をお尋ねいたします。

**市長** 地域住民の技術力を活かし、道路・水路等の修繕を自主的に行っていただくことは、有効な手段と考えます。一方、これらの作業実施にあたっての事故や怪我なども危惧されます。建設業者が減少していく中、有効な手立てをこれからも研究してまいります。



御調川破堰護岸工事が開始されました



市民連合  
だんじょう まさみつ  
檀上 正光



## 平成31年度予算の総体説明について

**議員** 「尾道創生に向けた独創的なまちづくり」とはどのようなものですか。

**市長** 「多様で豊富な人財」、「歴史と文化に育まれた資源」、「交流を支える広域拠点性」の3つの尾道オリジナルを活かしたまちづくりを展開します。昨年豪雨災害から復旧・復興支援に全力で取り組みます。

**議員** 新本庁舎の業務開始時期と現庁舎の解体・跡地整備などの完了時期はいつですか。

**市長** 新本庁舎は2020年1月6日から業務開始予定です。すべての工事完了は2021年2月を予定しています。

## 尾道の教育について

**議員** 教員のストレスが子どもに与える影響を、市教委はどう分析していますか。

**教育長** 文部科学省では、生徒指導や事務的な仕事、学習指導、業務の質、保護者への対応に強いストレスを感じる頻度が比較的高いと

分析しており、本市においても同様な傾向があると考えております。

**議員** 新年度、市内教職員の正規・臨時の割合、人数はどのように改善されますか。

**教育長** 平成30年度の正規職員は93.6%です。平成31年度に向け、県教育委員会と連携し、平成30年度を上回る配置ができるよう全力を尽くしています。

## 国家予算と地方交付税、合併算定替えの影響について

**議員** 国は、消費税増税対策で「臨時・特例措置」としてポイント還元やプレミアム付き商品券などを発行し、増税批判をかわそうとしています。市長の見解を求めます。

**市長** 消費税増税に伴う対応では、前回8%に引き上げ時の経験から、景気回復軌道を損なうことなく、経済への影響を最小限に留める臨時的な施策であると捉えています。

**議員** 地方交付税は7億円の増加を見込んでいます。合併算定替えの影響と交付税増額の要因は何でしょうか。

**市長** 公債費や臨時財政対策債の縮減分で約8億9千万円増、合併算定替縮減額約3億4千万円で普通交付税は5億円の増、昨年の豪雨災害からの復旧・復興の経費を踏まえ、特別交付税は2億円の増を見込んでいます。



公明党  
あらかわ きょうこ  
荒川 京子



## まちづくりについて

**議員** 独創的なまちづくりを展開するのは、どのようなまちづくりですか。

**市長** 「多様で豊富な人財」「歴史と文化に育まれた資源」「交流を支える広域拠点性」の3つの尾道オリジナルを活かした尾道らしい、尾道だからこそできるまちづくりです。

**議員** 開港850年の歴史はどのように周知していくのですか。

**教育長** 平安時代に大田庄の年貢米の積出港として朝廷から認められ海運業者や商人が集まり、その後、北前船の寄港地として瀬戸内海屈指の港町に発展しました。開港850年の歴史のリーフレットを作成し、全戸と児童生徒全員に配布します。

## 防災について

**議員** 新しい総合防災マップの改良点や配布方法はいかがですか。

**市長** 土砂災害警戒区域の指定箇所を掲載し、指定避難所を修正、防災啓発記事を

見直します。2019年度末に警戒区域指定を完了し、2020年度前期に全戸配布の予定です。

**議員** 防災ジュニアリーダー育成事業の取り組みはいかがですか。

**市長** 防災に必要な資質能力を中学生が自ら身につけられるよう有効な取り組みについて検討します。

## 児童虐待問題について

**議員** 虐待に対する庁内連携や児童相談所全国共通ダイヤル「189（いちはやく）」の無料化を広報する取り組みはいかがですか。

**市長** 保護者の虐待に注意を払い、全てのケースを照合する会議を実施、連携しています。「189（いちはやく）」の無料化については広報、周知していきます。

## 教育行政について

**議員** 夏休みのあり方を抜本的に考え直し、組み立てる事はいかがですか。

**教育長** エアコン設置で、より児童生徒が学習に集中できる環境が整備され、授業日を増やすことが可能になりました。今後どのくらい増やすことができるか、夏季一斉閉庁も実施する中、児童生徒さらには教職員にも、効果的でメリハリのある夏季休業になるよう、保護者や学校関係者等の意見を伺いながら検討します。



尾道未来クラブ  
まえだ たかと  
前田 孝人



## 尾道市の都市力 市長の见解は

**議員** 本当に大丈夫ですか？尾道市の財政運営。

平成31年度予算は649億5千万円と過去最高があります。しかし大型予算を組んだことで財政は大変厳しいものとなり、そのやりくりのため、財政調整基金を7億3千万円も取り崩し当て込んだ結果、経常収支比率は96.9%まで悪化し、危険ラインと言われる90.0%を大きく超え、財政的にはますます厳しさを増すこととなりました。厳しい財政運営により「尾道丸」は沈没しないのかと危惧する私です。

さて、4年連続で史上最大の予算編成が続いていますが、相変わらず焦点の定まらない予算編成です。尾道市が持続的に活力を持ち続けるための課題・問題点は何か。それが予算にどう反映し、整合しているのか。そうした焦点が見えない、総じて基本部分の活性化にはほど遠い、総花的（そうばなてき）な予算編成と映ります。

ところで、健全な自治体を維持していくために最も重視しなければならない条件の一つに生産年

齢人口の推移を見ることが必要といわれています。

尾道市では、この3年間で5,207人、6.68%も減少しています。このことは、尾道市の将来計画にとって極めて深刻な問題です。観光客が大勢来ているからと浮かれている間に肝心要の年齢層の人口は大幅に減少しています。ちなみに高齢化率は35.50%となっています。

施政方針に責任を負うのならば、当然深刻な生産年齢人口の流出に対する具体的な歯止めの施策と対策が、予算書に載っていない限りなりません。それがどこにも見当たりません。本気で持続性のある尾道市の将来を考えるなら、聞き心地の良い、裏付けが見えない文言を並べるのではなく、持続に必要な分野に集中して予算を振り分けるべきであります。それができていないのは平谷市長が12年も市政をあずかりながらも、尾道市の未来ビジョンを作成していないことが最大の理由だと思っています。

生産年齢人口の減少、高齢化率の上昇がもたらす尾道市の都市力について市長の见解を求めます。

**市長** この現象の緩和を図ることが重要な課題であるにとらえています。そのため、まち・ひと・しごと創生総合戦略を定め、若者の定住促進や出生率向上の取り組みを行っているものです。



日本共産党  
おかの ながとし  
**岡野 長寿**



## 尾道大橋の渋滞解決策について

**議員** 尾道大橋の交通渋滞解消のため、①二番潟交差点改良②向東～山波フェリー航路復活③しまなみ海道料金軽減で、「海の道」、「陸の道」整備に投資し、「活力ある産業が育つまち」にすべきではないですか。フェリー航路は民間では難しく、公営でやることを検討すべきです。

**市長** 堤線の整備を重点事業として早期開通を目指します。フェリー航路再開は困難です。しまなみ海道料金軽減に、今後も適時の要望を行います。

## 子ども医療費助成制度、国民健康保険料軽減など、「安心な暮らしのあるまち」について

**議員** 子ども医療費助成制度を高校3年生まで広げるべきです。国保料は他の公的医療保険と比べて高すぎます。保険料は世帯の収入に応じて賦課されるべきで、人数に応じて高くなる均等割を免除すべきです。子どもの均等割を免除すると予算はいくら必要ですか。福山市や他市

のように軽減、免除すべきではありませんか。

**市長** 子ども医療費助成制度は、本来国が取り組むべき課題であり、全国市長会を通じて強く要望します。国保料の子どもの均等割を免除すると約5,000万円必要です。平成30年度から県単位化の下、同じ保険料をめざしていますので、本市独自での減免は困難です。

## 中学校給食の改善について

**議員** デリバリー方式に固執せず、自校方式又は、共同調理場方式に改善すべきです。

**教育長** 親子方式での全員給食実施に向けたモデル事業として、浦崎小学校から浦崎中学校へ給食を配送するための給食調理場改修の予算を今議会に提案しています。

## 基金の活用について

**議員** 10年前と比べると基金総額は約2倍になっていますので、この基金（貯金）を有効に使って橋代の軽減やフェリー航路の復活、子ども医療費助成の拡大、国保料軽減など、市民のくらしが第一という柱を立て、取り組むべきではありませんか。

**市長** 基金は効果的な活用を図ります。

## こんなことが決まりました(主なもの)

### 【平成30年度一般会計等補正予算（1万円未満切り捨て）】

●公立大学法人尾道市立大学特別運営費交付金	1,261万円
●生活交通路線維持費	1,299万円
●障害児通所給付費等	5,900万円
●後期高齢者健康診査委託料	189万円
●災害廃棄物処理委託料	9,253万円
●災害廃棄物等撤去委託料	1億4,747万円
●災害廃棄物分別委託料	5,712万円
●災害土砂埋立整地負担金	2,936万円
●有害鳥獣捕獲報償費	200万円
●県営基幹農道整備事業県工事負担金	4,691万円



### 【条例改正】

- 国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、平成31年度分以後の国民健康保険料について基礎賦課限度額を改め、及び低所得者に対する減額措置を拡充し、並びに国民健康保険料の減免申請の期限を延長するための条例改正
- 介護保険料の減免申請の期限を延長するため、及び一部保険料率の特例を定めるための条例改正
- 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準（厚生労働省令）の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件に専門職大学の前期課程を修了した者を含めるための条例改正

### 【その他】

- 工事請負契約の締結について
 

栗原中学校校舎大規模改修工事(第1期)	2億2,140万円
向島中学校校舎(管理・教室棟)改築工事(建築主体)	4億8,330万円
尾道市立小中学校空調設備等整備工事	1億9,332万円

